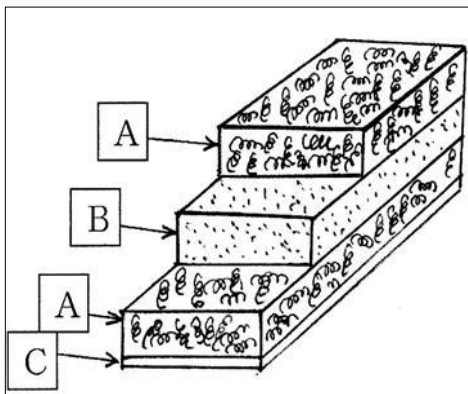


非接触型コリ緩和材の開発

開発者名 元島栖二（株式会社 CMC 総合研究所）

賢材分類

筋肉痛や肩コリなどを解消するには、薬剤の肌への直接散布や薬剤を浸透させたパッドあるいは指圧材など、肌に直接接触させることが必要です。開発した新規のコリ緩和材“ヘリカール[®]”は、シリコーンゴム中にカーボンコイルを均一分散させたもので、肌に直接接触させる必要はなく、サポーター内部に保持させただけで肌に非接触でも優れた筋肉疲労・コリ緩和効果が得られます。取り外して何回でも使用可能であり、洗濯も可能です。更に非接触でもガン予防・治療効果もあり、生体に対して複合的効果を発揮します。これらの効果は、CMCのDNA(遺伝子)と同じ二重らせん構造によってもたらされる波動的効果と考えられます。



CMC コリ緩和シートの構造：
シリコーンゴム中に CMC 及び磁性粉末（パーマロイ及びフェライト）を添加したシートの3層構造。(A) CMC シート層、(B) 磁性材シート層、(C) 母材（シリコーン樹脂）のみの薄いシート



パッドタイプ

参考文献

図説「カーボンマイクロコイル」、元島栖二著、日刊工業新聞社、2013/3 発行